

平成17年3月期決算説明会
短信補足資料
【連結・単独】

平成17年6月9日
石光商事株式会社
(証券コード:2750 JASDAQ)

目次

- ・平成17年3月期決算の概況
- ・主要商品の概況(単独)
- ・平成18年3月期の見通し
- ・石光商事(株)の過去・現在・未来

・ 平成17年3月期 決算の概況

取締役管理部門長兼経営企画室長
久保 潤一

1. 当決算(連結)のポイント

1. 前年同期比、売上高は増加。

競争激化により売上総利益率低下 営業利益が減少。

2. 持分法利益(TACR)増加等により経常利益は若干の減少にとどまるも、特別損失(長期為替予約であるクーポンスワップの期末時価評価損)の計上により当期純利益は大幅減少。

3. コーヒー生豆、飲料製品及び原料、常温食品は横ばい。

4. 冷凍食品(輸入水産加工品・輸入調理加工品)の売上は大幅増加。

5. その他は、機械・機器の輸出が大幅増加。

2. 平成17年3月期決算(連結)の概要



石光商事株式会社

実績と前期比

(百万円)

	15年3月期	16年3月期	17年3月期 予想	17年3月期 実績	増減率	
					前期比	予想比
売上高	29,465	32,049	34,247	34,166	6.6%	-0.2%
売上総利益	4,668	4,892	4,829	4,836	-1.1%	0.2%
営業利益	1,095	1,345	1,217	1,059	-21.3%	-13.0%
経常利益	1,192	1,432	1,281	1,356	-5.3%	5.8%
当期純利益	745	849	789	416	-51.0%	-47.2%
E P S(円)	97.53	101.22	93.73	52.07	—	—
R O E	13.9%	13.4%	11.8%	6.2%	—	—

3. 平成17年3月期決算 特殊要因

特別損失の発生

クーポンスワップ*時価評価損 831百万の影響で
当期純利益が416百万(前期比 51%)にとどまる

*クーポンスワップ・・・長期為替予約の1種

- ・(前期まで)ヘッジ会計を適用 期末時価評価損益はB/S上に繰り延べ計上
- ・ヘッジ会計から時価会計に変更 期末時価評価損益をP/L上に計上

参考資料:適時開示情報

平成17年2月18日付

「長期為替予約の会計処理について」

平成17年4月8日付

「特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」

4. 品目別売上状況(連結)前期比



石光商事株式会社

実績と前期比

(百万円)

	平成16年3月期				平成17年3月期			
	売上高		前期比		売上高		前期比	
	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	増減率
コーヒー生豆	3,802	11.9%	45	-1.2%	3,859	11.3%	56	1.5%
飲料製品 及び原料	3,904	12.2%	264	-6.4%	4,028	11.8%	123	3.2%
常温食品	8,546	26.7%	203	-2.3%	8,631	25.3%	85	1.0%
冷凍食品	6,761	21.1%	936	16.1%	7,983	23.4%	1,221	18.1%
食品原料	6,125	19.1%	943	18.2%	6,488	19.0%	363	5.9%
その他	2,908	9.1%	1,217	72.0%	3,175	9.3%	266	9.2%
合計	32,049	100.0%	2,583	8.8%	34,166	100.0%	2,117	6.6%

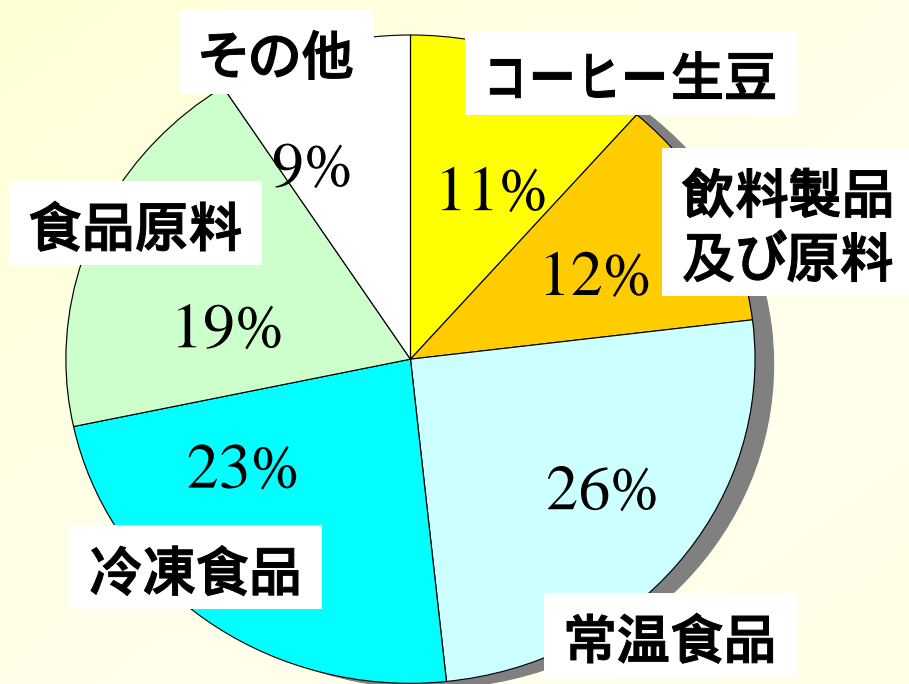
5. 品目別売上・売上総利益(連結)



石光商事株式会社

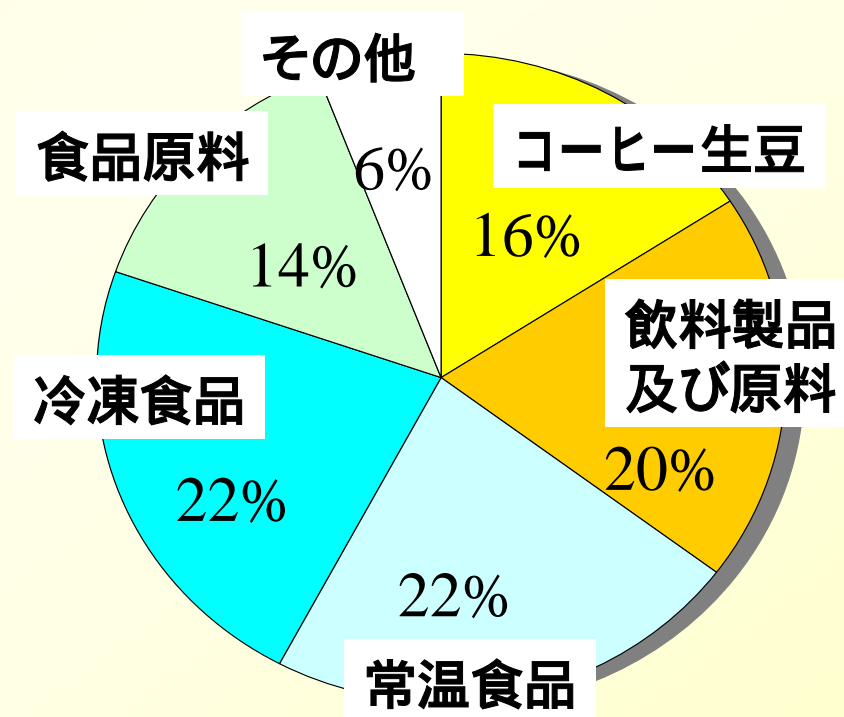
平成17年3月期(連結)

売上高構成比



平成17年3月期(連結)

売上総利益構成比



6. 連結貸借対照表 概要



石光商事株式会社

- ・在庫の増加によるたな卸資産増加
- ・売上増による運転資金調達のため、借入金増加

(百万円)

科目	H16年3月	H17年3月	増減	科目	H16年3月	H17年3月	増減
流動資産	9,984	11,191	1,206	流動負債	6,379	6,759	380
現金及び預金	1,678	1,791	113	仕入債務	2,813	2,729	83
売上債権	5,095	5,001	93	借入金	1,566	2,260	694
たな卸資産	2,731	3,668	936	未払金	889	995	105
その他	479	729	250	未払費用	331	13	318
				その他	778	760	18
固定資産	6,414	6,084	330	固定負債	3,166	3,447	280
有形固定資産	2,820	2,764	56	長期借入金	1,698	1,897	199
無形固定資産	9	14	4	その他	1,468	1,550	81
投資その他の資産	3,584	3,305	278	負債合計	9,545	10,206	660
				少数株主持分	186	188	1
				資本合計	6,666	6,880	213
				資本金	623	623	0
				資本剰余金	357	357	0
				利益剰余金	5,646	5,847	200
				その他有価証券評価 差額金	43	57	14
				自己株式	4	4	0
資産合計	16,399	17,275	876	負債・資本合計	16,399	17,275	876

* 株主資本比率

16/3

17/3

40.7%

39.8%

7. 連結CF計算書 概要



石光商事株式会社

(百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期
営業活動によるCF	61	295	389
投資活動によるCF	178	244	221
フリーCF	117	50	611
財務活動によるCF	21	105	713
換算差額	19	23	10
現金及び現金同等物の増減額	158	78	113
現金及び現金同等物の期首残高	1,840	1,681	1,603
現金及び現金同等物の期末残高	1,681	1,603	1,716

たな卸資産の増減額	487	49	936
手形割引高	1,346	967	1,224

8. TACRの業績推移

東京アライドコーヒーロ-スターズ(株)



石光商事株式会社

- ・持分法適用会社であるTACRの業績が好調
- ・持分法投資利益が前期比 2.2倍の316百万

実績と前年同期比

(百万円)

	平成14年 12月期	平成15年 12月期	平成16年 12月期	対前期 増減率	平成17年 12月期(予)	対前期 増減率
売上高	7,584	7,086	8,638	21.9%	8,500	-1.6%
当期純利益	433	402	740	84.2%	593	-19.8%
当社持分比率	36.86%	38.01%	38.01%	-	39.64%	1.63
当社持分法による投資損益	149	142	266	84.2%	235	-11.7%
持分変動による投資損益等	35	-	50	-	-	-
投資損益合計	185	142	316	122.9%	235	-25.7%

(注)平成17年3月31日の持分比率は39.64%です。

9. 連単倍率

単体実績と連単倍率

(単位:百万円,倍)

	平成16年3月期			平成17年3月期		
	連結	単体	連単倍率	連結	単体	連単倍率
売上高	32,049	31,485	1.0	34,166	33,686	1.0
売上総利益	4,892	4,424	1.1	4,836	4,423	1.1
営業利益	1,345	1,249	1.1	1,059	964	1.1
経常利益	1,432	1,246	1.1	1,356	1,026	1.3
当期純利益	849	701	1.2	416	115	3.6
E P S(円)	101.22	82.81		52.07	14.42	
1株当たり配当額(円)	-	22.00		-	20.00	
配当性向	-	26.6%		-	138.7%	

・ 主要商品の概況(単独)

売上高の連単倍率は1.0倍でありますので、
主要の商品の概況につきましては単独で、
ご説明申し上げます。

10. コーヒー生豆・RC・IC・紅茶の販売状況(単独)

- ・RC(レギュラーコーヒー)・・・飲料メーカーOEM製品の受注減による減少
- ・IC(インスタントコーヒー)・・・輸入製品の減少
- ・茶類・・・原料用緑茶・ウーロン茶等の増加による大幅増加

実績と前年同期比

(百万円)

	平成16年3月期			平成17年3月期		
	売上高	前年同期比		売上高	前年同期比	
		金額、数量	増減率		金額、数量	増減率
コーヒー生豆	3,716	37	-1.0%	3,789	72	2.0%
(コーヒー生豆数量)	299千袋	6千袋	-2.0%	293千袋	5千袋	-2.0%
RC	1,307	328	-20.1%	1,197	109	-8.4%
IC	926	62	-6.4%	884	42	-4.6%
紅茶他茶類等	1,208	190	18.8%	1,467	259	21.4%

* コーヒー生豆の販売数量には、子会社への有償支給分を含んでおります。

11. イタリア食材の販売状況(単独)

- ・EUR高の影響
- ・取引先であるイタリアパスタメーカー倒産の影響によりパスタ大幅減少
 昨年秋から再生 今期順調な回復へ(今期パスタ売り上げ目標450百万円)

輸入パスタ・オリーブオイルの実績と前年同期比

(百万円)

	平成16年3月期			平成17年3月期		
	売上高	前年同期比		売上高	前年同期比	
		金額	増減率		金額	増減率
輸入パスタ	515	57	-10.0%	366	148	-28.8%
オリーブオイル	315	14	-4.3%	309	5	-1.8%
生ハム・チーズ	80	1	1.5%	86	5	7.3%
合計	911	69	-7.1%	762	148	-16.3%

12. 冷凍水産加工品の販売状況(単独)



石光商事株式会社

- ・冷凍水産品の大幅増加
(エビ類は回転寿司向け、タコ類はメーカー向け販売好調)

実績と前年同期比

(百万円)

	平成16年3月期			平成17年3月期		
	売上高	前年同期比		売上高	前年同期比	
		金額	増減率		金額	増減率
エビ類	1,874	543	40.9%	2,306	432	23.1%
タコ類	536	146	37.4%	704	167	31.2%
イカ類	110	13	-10.6%	112	1	1.6%
その他水産品	155	50	48.7%	183	27	17.8%
合計	2,677	727	37.3%	3,306	629	23.5%

13. 冷凍調理加工品の販売状況(単独)

- ・大地の鶏 好調
- ・新商品の積極的開発
- ・中国産冷凍調理加工品売上合計・大幅増加 (前期比約2倍)

中国産冷凍調理加工品の実績と前年同期比

(百万円)

	平成16年3月期			平成17年3月期		
	売上高	前年同期比		売上高	前年同期比	
		金額	増減率		金額	増減率
鶏唐揚げ等	96	90	1418.3%	188	91	94.7%
白身魚フライ	63	36	134.9%	84	20	31.9%
八幡巻類	12	5	68.5%	34	21	166.1%
ロールキャベツ	12	6	92.7%	31	19	153.4%
ポークカツ類	18	10	136.5%	23	5	29.2%
卵春巻	19	11	126.4%	15	3	-19.6%
その他	5	2	83.6%	101	96	1909.0%
中国調理加工品合計	228	161	242.7%	478	249	109.4%

. 平成18年3月期 業績見通し

14. H18年3月期見通しの背景

1. コーヒー生豆は相場上昇もあり、増収ながらも利益率低下。
2. (RC)コーヒータグ順調に増加、OEM製品は減少。
緑茶等原料は需要増で増加。
3. 常温食品は、イタリア食品回復。
食品輸出も、販路拡大で販売増。
4. 冷凍食品の輸入水産加工品・輸入調理加工品は、
大幅増加の予想。
5. 全般には引き続き、競争激化により利益率維持は厳しい。

15. 業績予想(連結)



増収予定。営業利益は増加するも、
持分法による投資利益の減少により経常利益は減少。

(百万円)

	平成17年3月期			平成18年3月期		
	実績	前期比		予想	前期比	
		金額	増減率		金額	増減率
売上高	34,166	2,117	6.6%	36,459	2,292	6.7%
売上総利益	4,836	56	-1.1%	4,971	135	2.8%
営業利益	1,059	286	-21.3%	1,079	19	1.8%
持分法による 投資利益	316	175	122.9%	235	81	-25.7%
経常利益	1,356	76	-5.3%	1,241	114	-8.5%
当期純利益	416	433	-51.0%	796	379	91.2%
E P S(円)	52.07	49.15	-48.6%	99.70	47.63	91.5%

16. 業績予想(連結 品目別)



石光商事株式会社

コーヒー生豆相場の上昇により、コーヒー生豆・飲料製品の売上高は大幅増加の予想。

(百万円)

	平成17年3月期実績				平成18年3月期予想			
	売上高		前期比		売上高		前期比	
	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比	金額	増減率
コーヒー生豆	3,859	11.3%	56	1.5%	4,579	12.6%	720	18.7%
飲料製品 及び原料	4,028	11.8%	123	3.2%	4,770	13.1%	743	18.4%
常温食品	8,631	25.3%	85	1.0%	8,939	24.5%	308	3.6%
冷凍食品	7,983	23.4%	1,221	18.1%	8,495	23.3%	512	6.4%
食品原料	6,488	19.0%	363	5.9%	6,642	18.2%	153	2.4%
その他	3,175	9.3%	266	9.2%	3,031	8.3%	144	-4.5%
合計	34,166	100.0%	2,117	6.6%	36,459	100.0%	2,292	6.7%

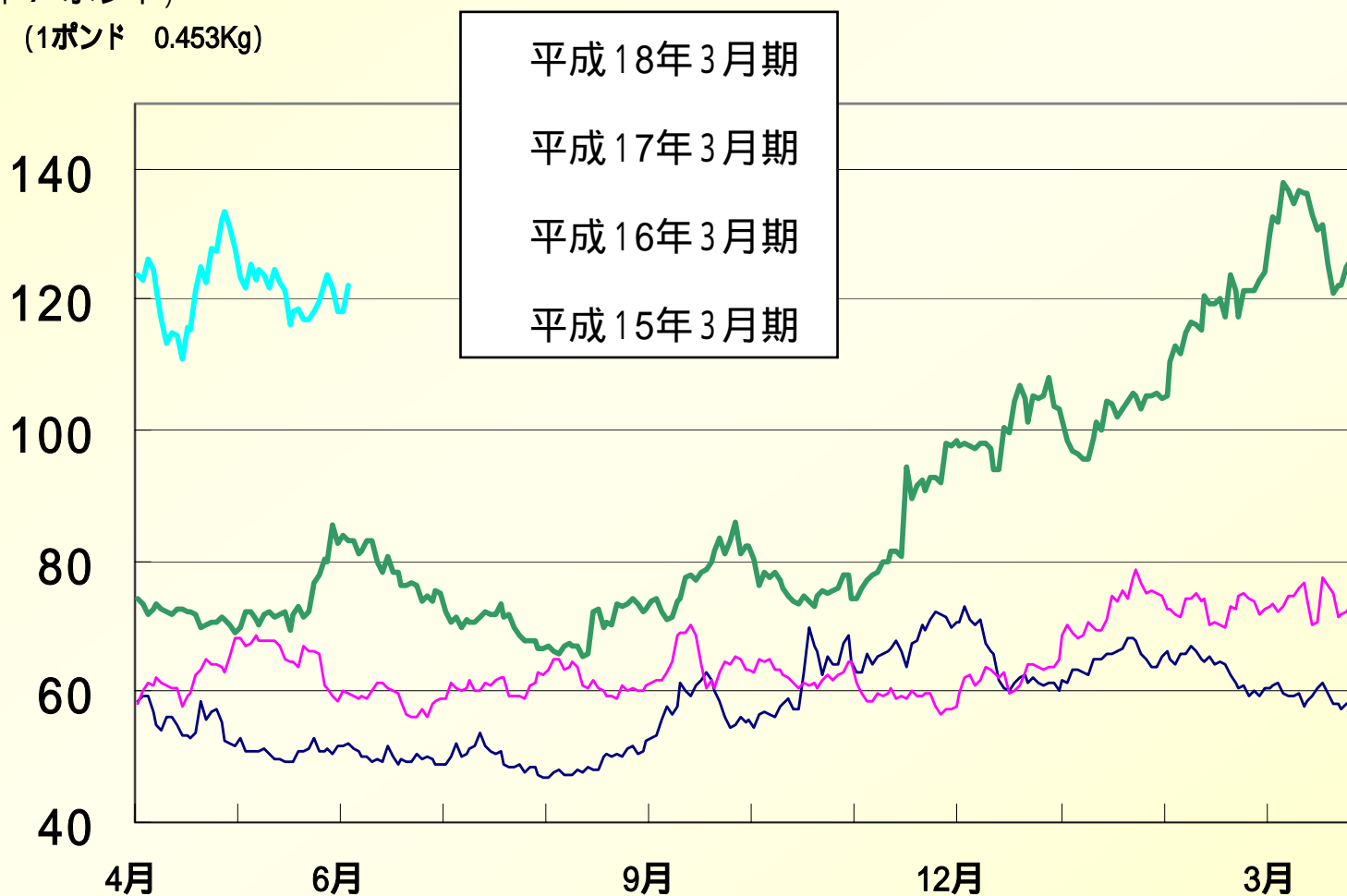
17. NYコーヒー価格の推移



石光商事株式会社

(セント/ポンド)

(1ポンド 0.453Kg)



(出所) ニューヨーク商品取引所

18-1. 中期経営計画(連結)の概要



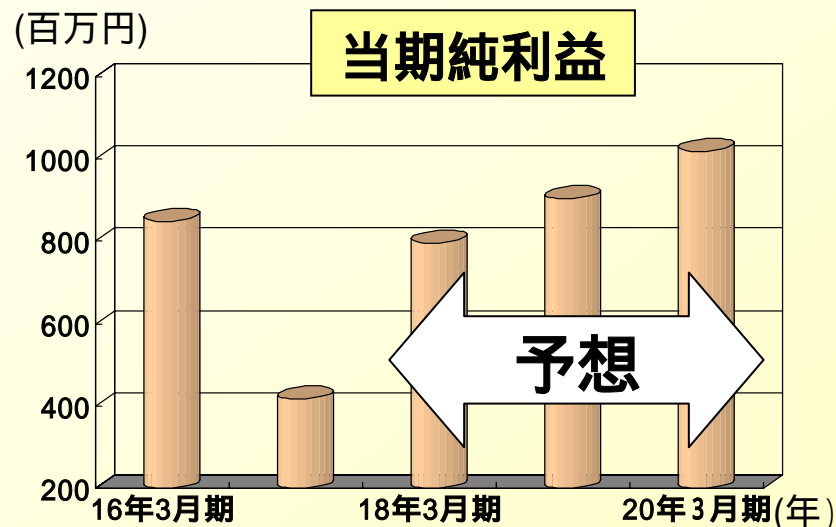
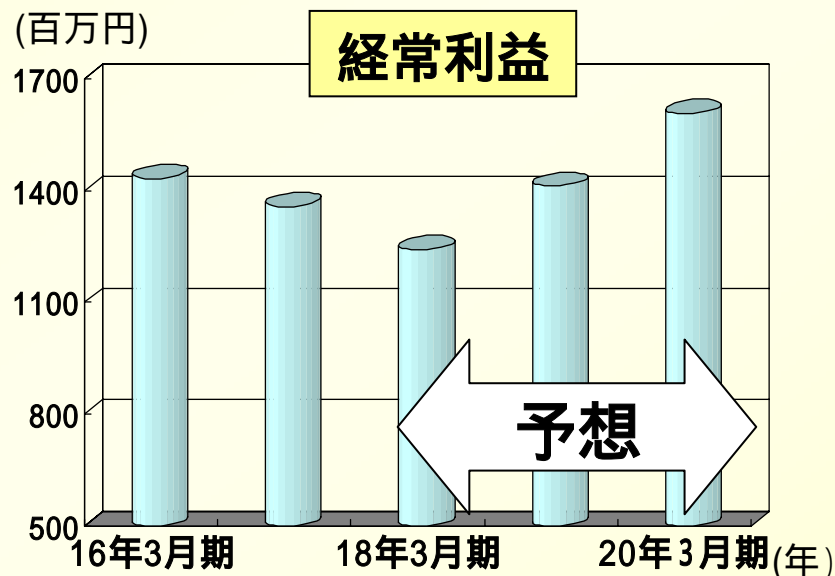
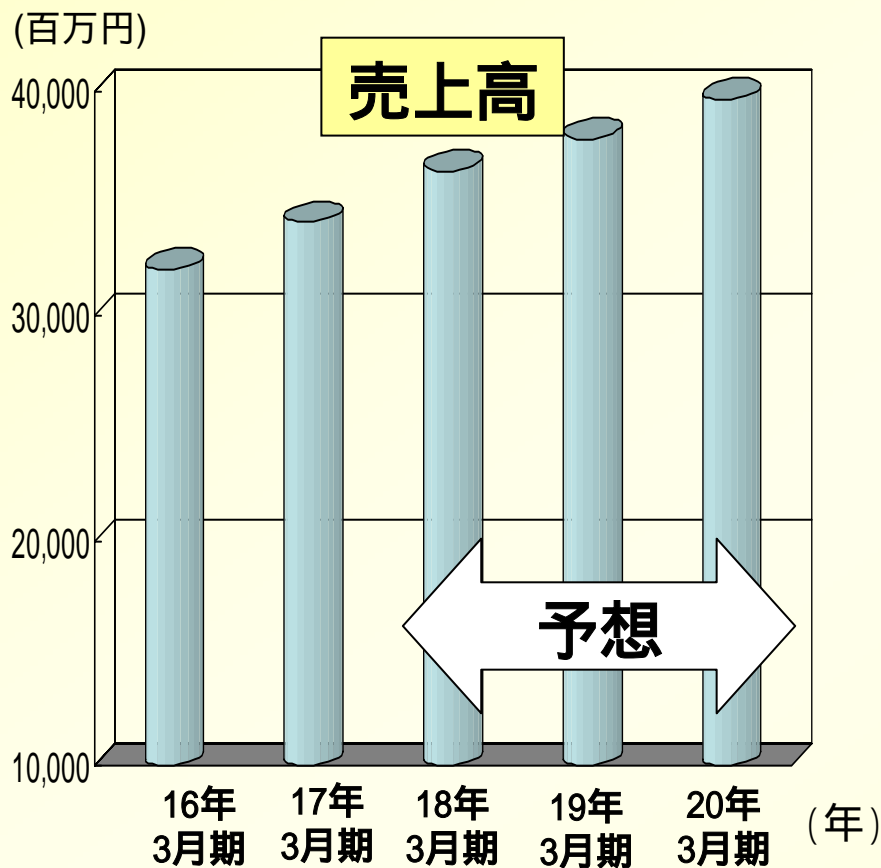
石光商事株式会社

	18年3月期			19年3月期			20年3月期		
	金額	前期比		金額	前期比		金額	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	36,459	2,292	6.7%	37,885	1,426	3.9%	39,613	1,728	4.6%
売上総利益	4,971	135	2.8%	5,140	168	3.4%	5,379	239	4.6%
営業利益	1,079	19	1.8%	1,221	142	13.2%	1,405	183	15.1%
経常利益	1,241	114	-8.5%	1,411	169	13.7%	1,606	195	13.8%
当期純利益	796	379	91.2%	903	107	13.4%	1,019	115	12.8%
E P S (円)	99.70	47.63	91.5%	113.00	13.40	13.4%	127.60	14.50	12.8%

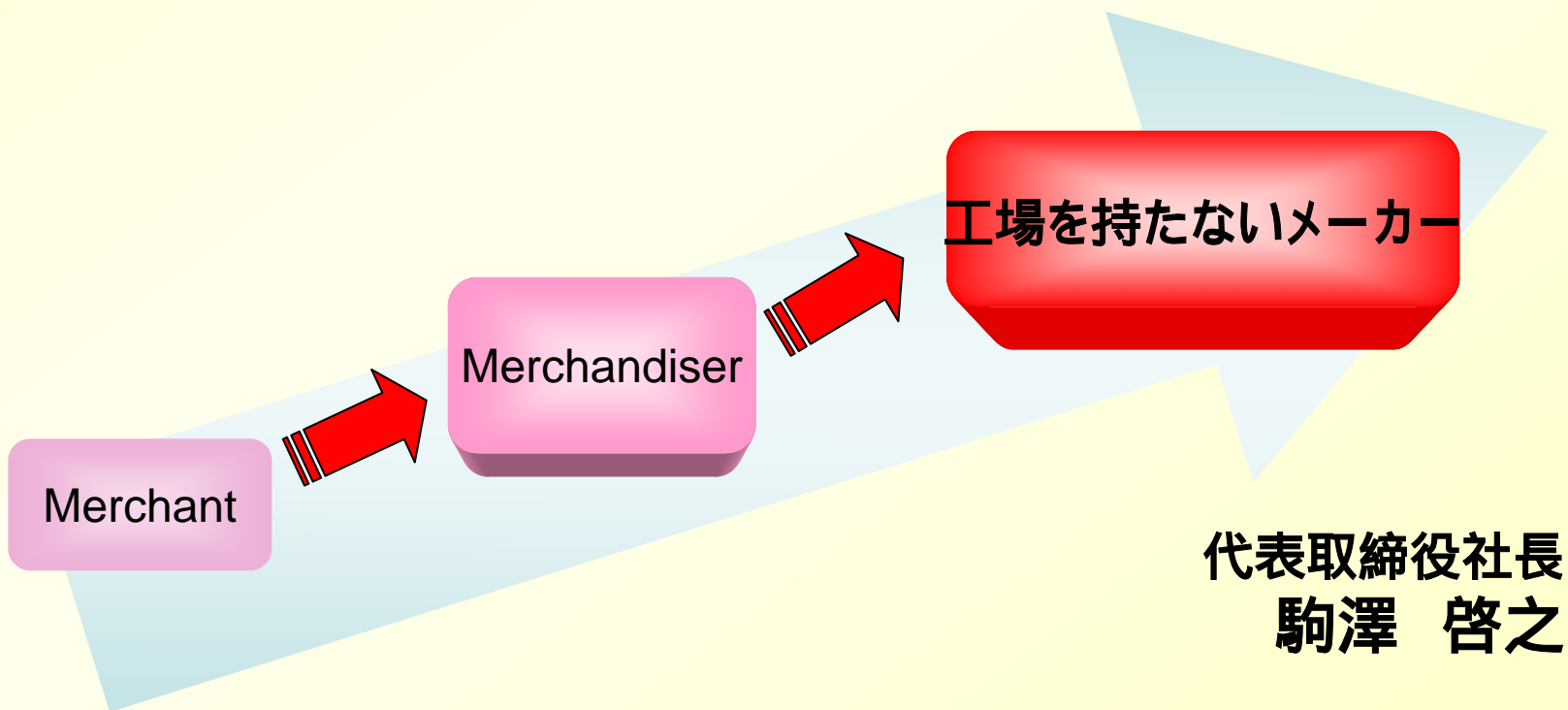
18-2. 中期経営計画(連結)



石光商事株式会社



・石光商事(株)の過去・現在・未来



代表取締役社長
駒澤 啓之

19. 会社概要



石光商事株式会社

社名：石光商事株式会社 (S.ISHIMITSU & CO.,LTD.)

本社：神戸市

代表者：代表取締役会長
石光輝男



代表取締役社長
駒澤啓之



創業者：石光季男

創立：1906年7月 ロサンゼルスにて

設立：1951年5月

売上高：34,166百万円 (平成17年3月期連結)

経常利益：1,356百万円 (平成17年3月期連結)

当期純利益：416百万円 (平成17年3月期連結)

従業員数：226人 (平成17年3月末連結)

主要業務：コーヒーを中心とする食品販売事業

関係会社：連結子会社5社、持分法適用関連会社1社

20. 沿革



石光商事株式会社

- ◆ 1906年 : 創業者が単身渡米、ロサンゼルスにおいて食料品販売業を創業
- ◆ 1922年 : 対日貿易量の増大にともない本店を神戸に移す
- ◆ 1941年 : 戦争激化により休業。海外資産没収
- ◆ 1951年 : 貿易再開と同時に神戸にて株式会社石光季男商店を設立
- ◆ 1963年 : 石光商事株式会社と改称
- ◆ 1972年 : 東京アライト'コーヒーロースターズ'(株)設立(東京地区取引先との共同出資)
- ◆ 1973年 : 関西アライト'コーヒーロースターズ'(株)設立(関西地区取引先との共同出資)
- ◆ 1999年 : 神戸市灘区にて本社新社屋ビルが完成、移転
- ◆ 2002年 : 組織改革 チーム制の導入
JASDAQ市場に上場
- ◆ 2004年 : 人事制度改革、情報システム再構築へ着手
安全な食品の提供(研究開発室・品質保証室の強化)
- ◆ 2005年 : 新人事制度の導入
- ◆ 2006年 : 創業100周年を迎える

創業者
石光季男



21. あゆみ ~ 社長業に就いて ~

- ◆ 1998年 組織を縦割りから横割りへ
- ◆ 1999年 新社屋完成・移転
社内イントラネット導入
代表取締役社長に就任
- ◆ 2000年 神戸製品部門及びKACRがISO9001及び9002を取得
経営企画室・内部監査室を設置
- ◆ 2001年 研究開発室を設置
- ◆ 2002年 組織改革・チーム制の導入 フラットな組織へ
JASDAQ市場に上場(11月)
- ◆ 2003年 株主優待制度の新設
- ◆ 2004年 2004年3月期決算で過去最高の利益を計上
品質保証室の設置
単元株を1,000株 100株へ引き下げ
- ◆ 2005年 株主数が倍増(3,098名)
代表取締役副会長に就任予定(6月)

22. 石光商事グループ



石光商事株式会社

関西アライドコーヒー
ロースターズ(株)
(神戸)

レギュラーコーヒーの
焙煎・加工・販売
(出資比率 64%)

東京アライドコーヒー
ロースターズ(株)
(東京)

レギュラーコーヒーの
焙煎・加工・販売
(出資比率 39%)

キング珈琲(株)
(札幌)

レギュラーコーヒーの焙煎・
販売及び食品の販売
(出資比率 92%)

ユーエスフーズ(株)
(東京)

コーヒー生豆の小分け販売
(出資比率 100%)

岩屋サービス(株)
(神戸)

運送業
(出資比率 83%)

シーカフェ(株)
(東京)

イタリアレストランの経営
(出資比率 100%)

関西アライドコーヒーロースターズ(株)



キング珈琲(株)



岩屋サービス(株)

(当社物流センター内)



イタリアレストラン“イバルバロ”



東京アライドコーヒーロースターズ(株)



ユーエスフーズ(株)



ピッツェリア“バッコ”



23. 経営理念・経営方針



石光商事株式会社

経営理念

「ともに考え、ともに働き、ともに栄えよう」



1. 事業ドメイン

食を通して“豊かさと健康”を提供

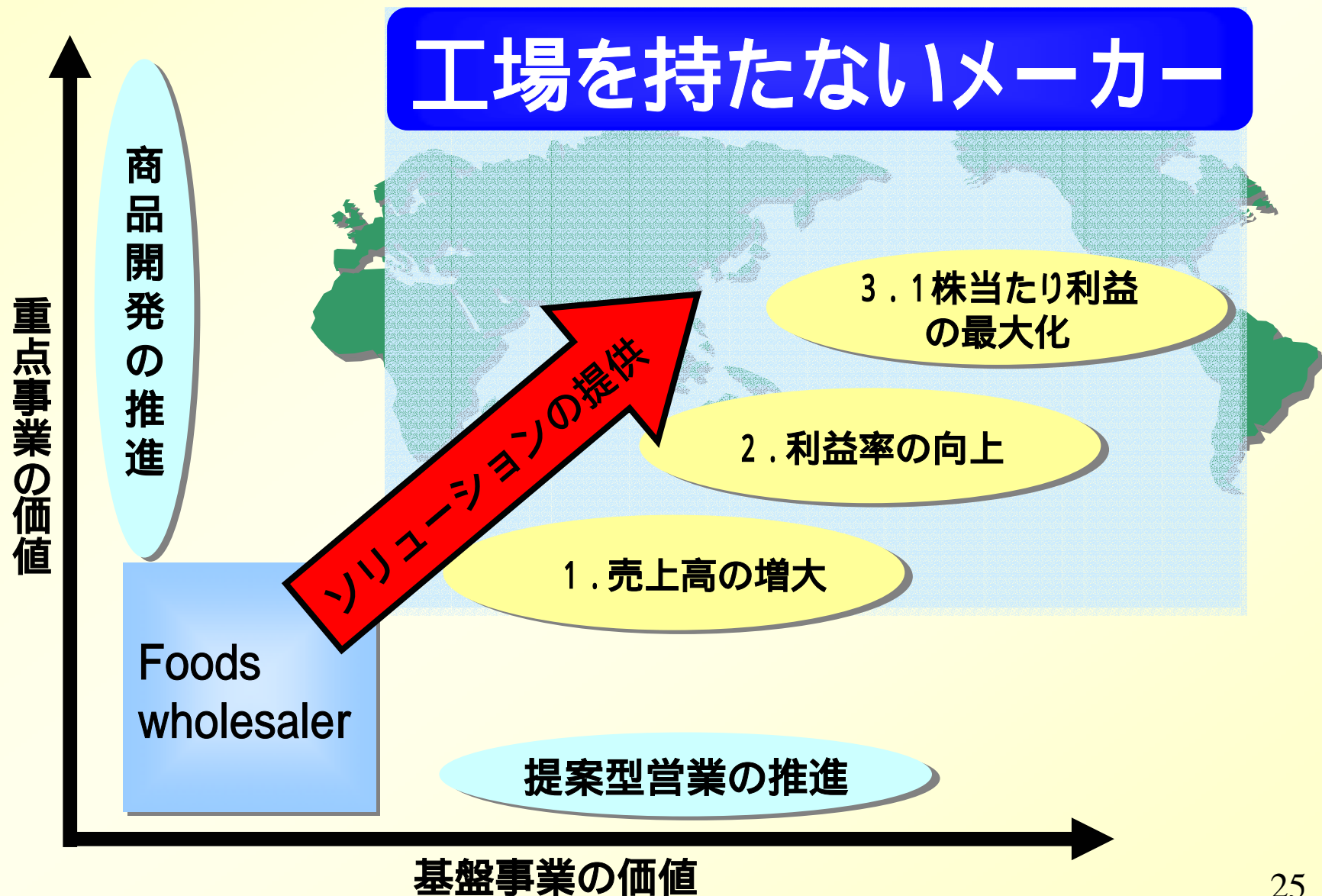
2. 目指すべき企業像

顧客のニーズを迅速的確にとらえ、
開発・提案型営業を展開し、
「工場を持たないメーカー」を目指す

24. 「株主価値」最大化へ向けて



石光商事株式会社



25. 目的達成のために



石光商事株式会社

1. 人財の育成

・有能で温かい心をもった
人財の確保・育成

2. 企業の社会的責任

・コンプライアンス

・透明性のある風土作り

・安心・安全の商品を提供
設備投資

食と健康についての情報提供

社内体制改革の進捗状況

1. 人事制度の改革

・役割等級制度導入

(平成17年4月より)

ミッションの明確化、評価の透明性

2. コンピュータシステムの改革

(平成18年度予定)

・システムの統合及びダウンサイジング

26. 組織変更(コーヒー・飲料部門へ)

コーヒー部門・製品部門の統合 機能性・シナジーの向上

3部門制に

食品部門

管理部門

コーヒー・飲料部門

コーヒー部門

製品部門

原料(生豆)から、
製品まで一貫した取り扱い

- ・コーヒー生豆の深い知識と経験
- ・世界中のネットワーク

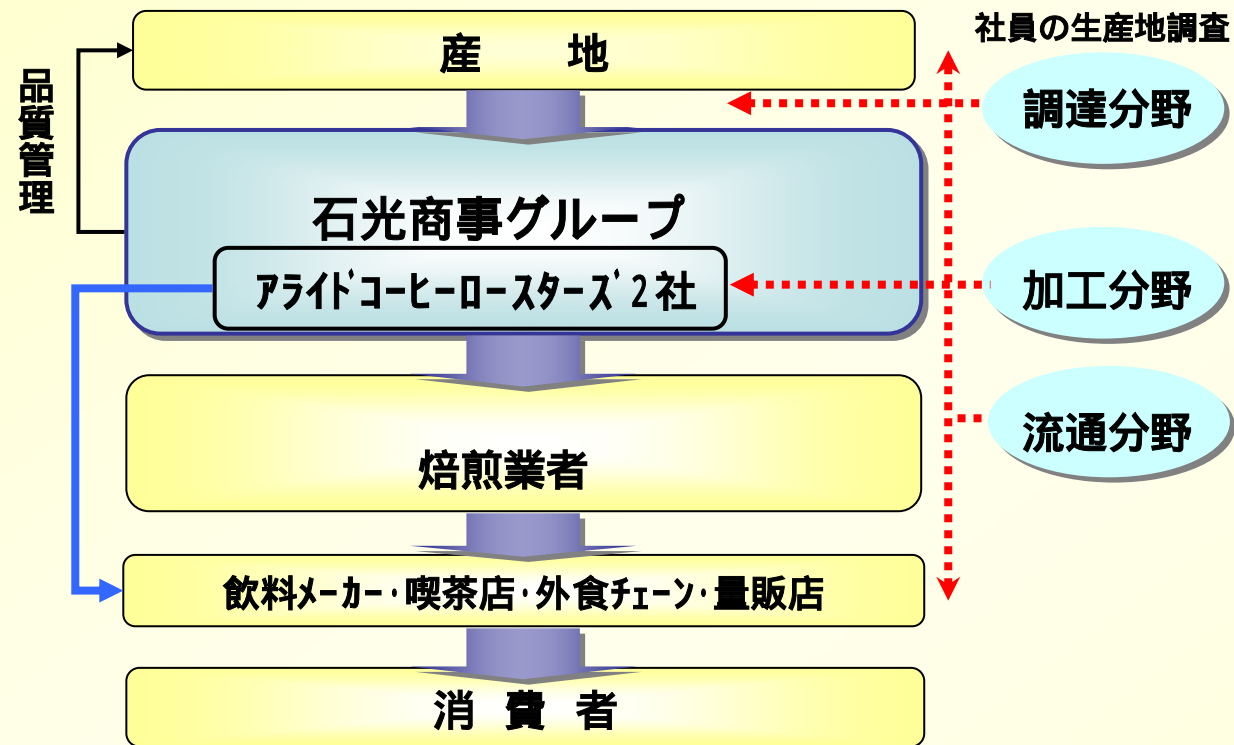
- ・お客様・市場の「発想」
- ・お客様・時代のニーズを的確に察知

27. コーヒー・飲料部門



石光商事株式会社

川上から川下まで

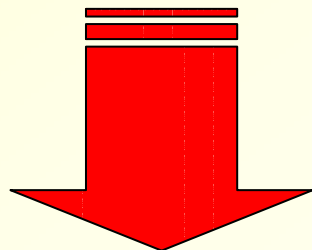


28-1. 常温食品



石光商事株式会社

“伝統的に強み”
を持つピン缶詰食材



* 今後伸ばしていくカテゴリー *
他社との差別化を図るべく、自己ブランドの確立
新生“モリサーナ”パスタを中心としたイタリア食材



28-2. 冷凍食品



石光商事株式会社

冷凍水産加工品 & 調理加工品

使用メニュー提案例

プリプリエビのピラミッド



大地の鶏



ジャンボフランク



手さき蒸し鶏

28-3. 食品原料



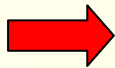
石光商事株式会社

加工度を高めた食品原料へのシフト加速

- ・栗甘露煮
- ・調味梅
- ・トマトペースト
- ・生鮮野菜 等



カット牛蒡
ごぼう



剥き玉葱



栗甘露煮

29. 食の安全と安心の追求



石光商事株式会社

品質保証室

・取扱い商品の品質保証

研究開発室

- ・コーヒーに関する研究開発
- ・安全な食品の検査
- ・残留農薬等の検査

ポジティブリスト制
のH18年施行への対応策
検査機器の増設・人員増強
による検査機能の強化



研究開発室の検査機器

LC / MS / MS (液体クロマトグラフ / タンデム質量分析装置)

世界で使われる農薬について、食品に残留してよい量を定めてリスト化し、基準が設定されていない農薬は、残留を原則禁止する制度

森本 茂（平成17年6月29日、代表取締役社長に就任予定）プロフィール

森本 茂（もりもと しげる）

- ・生年月日 昭和28年8月17日（51歳）
- ・出身地 愛媛県中島町
- ・略歴

昭和53年4月	当社入社
平成11年6月	取締役東京営業部長
平成12年6月	取締役食品部門長兼東京営業部長
平成15年6月	取締役東京支店長
平成16年6月	常務取締役東京支店長
平成17年6月29日	代表取締役社長に就任予定

- ・趣味 料理
- ・モットー 一所懸命
誠意と熱意が人を動かす
- ・新規事業に挑戦、立上げ
- ・イタリアン食材の拡大に貢献



目指すべき企業像

新たな価値を創造する開発型専門商社

- コーヒーの専門商社として新たなコーヒーの価値作りに挑戦し、より多くの人々にコーヒーのある香り高い生活を提案します。
- 「美味しく食べて健康になる」をテーマに、「食」の楽しさと健康、生命の大切さを伝えます。

行動指針 GOOD COMMUNICATION

- ・お客様とのコミュニケーション
 - ・仕入先様とのコミュニケーション
 - ・社員同士のコミュニケーション
 - ・社会とのコミュニケーション
- ビジネスの中心は「人」である事を認識し、良好な人間関係の中で社会に開かれた会社を目指します。



予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

本日は、ご出席いただきありがとうございました。
今後とも、ご支援・ご理解を賜りますよう、宜しくお願い
申し上げます。

石 光 商 事 株 式 会 社

経営企画室 久保・前田

TEL : 078-861-7828

FAX : 078-882-1007

URL : <http://www.ishimitsu.co.jp/>

MAIL: ir@ishimitsu.co.jp



石光商事株式会社
S. ISHIMITSU & CO., LTD.